

# 授業改善等に関する報告書（2019年後期）短期大学部

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2019（後期）英語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
イギリス文化事情	太田 祐子	皆さんが集中して課題に取り組み学修した結果、アンケートの意見にあるようにイギリス文化の理解を深めることにつながったと思います。また、一人一人が行ったプレゼンテーションでは興味のある事柄について、パワーポイントやプロジェクターを利用しわかりやすく発表するなど工夫が感じられました。リアクションペーパーは、説明内容も毎回充実し進歩が見られました。今後も異文化について問題を発見したり、知識を深めることができる授業になるよう努力していきたいと思います。
オーストラリア文化事情	三田 薫	「毎回の授業後のテストやレポートを行ったことで、文章をまとめる力がついたと思う。」「日本と他国の問題などを客観的に考えたり、日本の歴史について考えたりする力が身についた。」というコメントが見られ、皆さんが毎回のレポート提出を頑張って続けた結果の成果が見られてうれしく思います。
Workshop E	三田 薫	「実際に海外の方と接することで、話す実践力が身についた。」「先生以外の外国の人となかなか会話する機会がないので、この授業はとてもいい経験になりました。課題にしっかりと取り組む力も身についたと思います。」といったコメントがあり、皆さんが実際に毎週英会話を続け、また課題に取り組んだ成果が出ていることをうれしく思います。
英語学B	藤原 正道	講義は大学、短大の醍醐味の一つです。講義を通して、思考方法を身につけられるようになるとよいですね。そのためには質問をしたり、参考文献を読んだりして自ら学ぶことが必要です。今後の発展に期待します。
ホテル実務	加藤 雅一	ホテル業務についての理解が深まったというコメントを多数頂きました。また、講義にご満足頂いた方が多数おられたことも、望外の喜びです。すばらしい学生に恵まれたおかげで有意義な講義を展開することができました。ありがとうございました。
マーケティング	大倉 恭輔	マーケティングを学ぶためには、その基礎となる経済・経営の知識が必要です。また、ファッション業界を題材にする場合、ブランドに関する知識も必要です。そのために、地道な作業をおこなったのだということを理解してもらえると助かります。
アニメ・マンガ英語	武内 一良	履修者11名中回答者3名ということなので、意味のあるデータとは言いにくい。こうしたアンケートの場合、科目を気に入った学生が書く傾向があるので、見た目がいい結果となりやすい。アンケートに答えなかった学生の評価が重要であることから、全員にアンケートに答えってもらうためにはどうすればいいかを考えていきたい。
ホスピタリティ論	武内 一良	ホスピタリティの考え方が非常に難しい内容を含んでいるので、分かりやすくする工夫をもっとしていく必要性は常々感じている。しかしながら、最近の学生は決められたことを覚えることが勉強だと感じているため、自分で考え自分で結論を出すことに慣れていないことが分かりにくさを感じる原因となっているようである。
発音演習B	藤原 正道	後期の朝1限は一層大変だったかと思いますが、習得できたものも多かったのではないのでしょうか。これからの発展に期待します。
WritingB (E⑤)	藤原 正道	英文法の基礎から応用まで身についたでしょうか？基礎の文法知識を身につけていないと、今後の発展も望めません。体系的に文法を学ぶことを期待します。
英語音声学B	萩野 敏	履修者数87名という大教室での講義で、音声を扱うには、あまりよい学修環境ではなかったと思います。「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が半数近くいたのに対して、23.3%の受講者が「空き時間があつたから」という理由で履修していました。一方で、講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなつたとも思います。総合満足度は全体の平均を上回りました。
比較文化論B	久保田 佳枝	比較文化論Bは読み書きが多く、毎回の授業準備と復習が大変だったことと存じます。ですが、皆さんのコメントを拝見し、大変ながらも読む、調べる、まとめる、書くといったプロセスを経て達成感を味わうほどまで成長されたことを嬉しく思います。これからもこの調子で勉学に励み、さらなる発展を期待します。

[2019 (後期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Workshop F	三田 薫	「外国人と会話をすることになれることができてと思います。また、簡単なフレーズなども見につけることができました。」「一年前の授業と比べて最新の授業のスカイプではスムーズに話すことができてよかった。」というコメントが見られ、毎週英会話を続けてきた皆さんの頑張りが結果につながったことがわかり、うれしく思います。
アメリカ文化事情	久保田 佳枝	当該科目は海外英語研修の準備講座ということもあり、歴史から現代社会まで幅広い内容を盛り込んでいます。コメントをくださった皆さんは、自分なりにアメリカに関する知識や理解が深まったり、また準備講座としてそれなりに意味ある科目であったようですので、大変嬉しく思います。アメリカでの一般的なマナー（チップの習慣等）もお伝えしてきましたので、忘れることなく、今後の皆さんのアメリカ旅行などにもお役立ていただけることを期待します。
基礎演習	大倉 恭輔	授業後半では、地道な作業をしてもらいました。明確なモノサシを用いてモノゴトを分類するというスキルは、社会に出てからとても重要視される部分です。そのためのレッスンをしてもらったわけですが、わかりにくいという感じた受講生が多いようです。各グループの作業中、ずっと巡回をしていたので、積極的に質問をしてもらえたら作業もスムーズになったと思います。2年次の卒業演習では、どの先生のゼミでも多かれ少なかれ同様の作業が求められると思います。この授業での経験を活かしてもらえることを期待します。
基礎演習	萩野 敏	前期の実践入門セミナーを引き継ぐ担任クラスとして開講されている科目ですが、今年はクラス全体の2割を超える学生が短期大学の派遣留学生として海外に渡ったため、クラスサイズが小さくなっただけでなく、雰囲気も前期とは微妙に異なっていたように感じます。総合満足度は前期と同じ4.31と高めの値でしたので、この科目に求められる役割はほぼ果たせたのだらうと思います。
基礎演習	三田 薫	「レポートを書く力が大幅について、ほかの授業でも役立つ。」「雑談力でコミュニケーション能力をあげることができた。」というコメントが多くみられ、皆さんが授業で目標としていた内容をしっかり身に付けてくれたことをうれしく思います。
基礎演習	久保田 佳枝	必修科目であり、また1時間目の授業であったことから、毎回の授業に遅刻することなく出席は大変だったことと思います。朝早くからのプレゼン、よく頑張りました。皆さんが身につけプレゼン力を2年次の卒業演習でも発揮されることを期待します。
WritingB(E②)	大島 幸治	この授業では前期で学習した詳細な文法的知識を踏まえ、和文英訳方式の英作文に加えて、英語による論述、イラストを見て自由に英語で解説するなどの実践的な英語運用の演習を試みた。さ日常生活に必須の語彙を充実させることを目的に、毎回プリントを配布し、指定の範囲について毎回小テストを実施したり、時事単語学習のためのプリントを作成して配布したいしたが、これらの課題について学生は概ね積極的に取り組んだと思う。加えて、教室内では学生との対話を重視し、英作文の作業に取り組む学生に個別の質疑や解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図したこれにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものと考えている。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているので、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。

[2019 (後期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Grammar&UsageD	大島 幸治	この授業では時事英語に関連する語彙力の強化を行うため、国際経済や政治に関連する時事単語のプリントを作成し、配布し、毎回、指定箇所の小テストを実施した。与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。 また、「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。教室内では学生との対話を重視し、学生からの質問や追加で補足してほしいとあがってくる情報の収集に努めた、その情報に基づき、プリントをさらに追加・配布するなどの対応を行っている。内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより理解を深める効果をあげているものと思われる。これにより授業前半の学習内容についても、十分確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているため、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
ReadingB (E④)	大島 幸治	この授業では、日常生活に必須の語彙を充実させることを目的に、毎回、時事英語に関連する単語集プリントを配布し、指定の範囲について毎回小テストを実施するというを行った。与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。加えて、教室内では学生との対話を重視し、個別の質疑に回答し、解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、授業ではなるべく最新の情報や知見を解説に加え、板書することで関心を高めようとした。復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより、一定レベルの理解が得られるよう、また事後学修の便を高める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているため、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
WritingB (E①)	大島 幸治	この授業では学習効率を上げるため、課題英作文については、前期と同様に複数の解答例とその分析を提示したプリントを配布した。また、日常生活に必須の語彙を充実させることを目的に、毎回プリントを配布し、指定の範囲について毎回小テストを実施するというを行った。また学生の学習と資格取得へのモチベーションを高めるため、そのニーズについて、これまで授業内で学生から取材してきた結果を反映して、英字新聞を読んで情報収集できるよう、時事単語学習のためのプリントを作成し、配布した。与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。 加えて、教室内では学生との対話を重視した「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生からの質問や追加で補足してほしいとあがってきた情報について、プリントをさらに追加・配布するなどの対応を行っている。前期に引き続き内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより理解を深める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているため、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
ReadingB (E③)	大島 幸治	この授業では、学習効率を上げるため、テキスト英文については、その訳例プリントを配布した。これにより、自宅での復習の便宜を図っている。このようなローテーションで授業を進め、自学自習を促している。さらに日常生活に必須の語彙を充実させることを目的に、毎回、時事英語に関連する単語集プリントを配布し、指定の範囲について毎回小テストを実施するというを行った。与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。 加えて、教室内では学生との対話を重視した「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、授業ではなるべく最新の情報や知見を解説に加え、板書することで関心を高めようとした。復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより、一定レベルの理解が得られるよう、また事後学修の便を高める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているため、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
英米言語文化論B	萩野 敏	「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生がほぼ半数(49.0%)だったのに対して、27.5%の受講者が「空き時間が多かったから」という理由で履修していました。また、必須科目ではないのですが「必修だったから」と答えた人が3名もいました。一方で、講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったとも思います。総合満足度は全体の平均を少し上回りました。
Grammar&UsageD	久保田 佳枝	日本語の語順や言い回しにとられすぎずに内容を理解し、それを伝える英語にしていこう。これまでの英語の授業とは異なって慣れるにも大変だったことと思います。通年履修くださった皆さんがコメントをくださったことご様子ですので、1年を通して身につけた「英語脳」「英語発想」を、これからも意識して英文作成に活かしていただけますことを、期待します。
卒業演習B	大倉 恭輔	まじめに・地道にやりましょう。

**【2019（後期）英語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック**

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習B	萩野 敏	総合満足度の平均は全体平均を大きく上回る4.56でした。この項目に限らず全体的に高い評価を得ることができました。一方で、学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるようにも思われます。
卒業演習B	藤原 正道	プレゼンしたり、質問したりする少人数の演習は身につくものが多かったと思います。学んだことをこれからの将来に生かしてくれることを期待します。
卒業演習B	三田 薫	皆さんの英語力とクリエイティビティが試される課題でしたが、しっかり取り組んで、「海外の人にも伝わりやすいかどうかを判断する力が身につきました。」といった力も身についたことがわかり、うれしく思います。
卒業演習B	武内 一良	履修者21名中2名の回答であるため、ほとんど分析する意味がない。この授業は論理思考を実施し小論文を書かせることが目的となっているため、決められたことを覚えればよいという姿勢だと苦労してしまう。その点について、今後とも分かりやすい授業展開を心がけていきたい。
卒業演習B	久保田 佳枝	この科目のプレゼンは時間も長く、またファシリテーションも必要だったことから、準備にはお時間がかかったことと思います。ですが、取り扱ったトピックのおかげか、皆さんよく内容を把握し、クラスでのディスカッションをまとめ上げ、よくできていたと思います。そのためクラスメイトとの意見交換も活発でしたね。卒業後も、この調子でご活躍されることを期待します。